

X-MON3 NTP サーバ設定方法 (RHEL/CentOS6,7 系)

本文書は、Red Hat Enterprise Linux (以下 RHEL と表記)6 または 7 系へ X-MON をインストールした環境にて、`ntpd` を利用した時刻同期設定を行う手順です。

OS の基本的なコマンド操作についてはご理解のうえお読みください。

1、X-MON サーバへ接続

X-MON サーバに直接モニタとキーボードを接続するか、SSH クライアント等でログインし、`root` ユーザにスイッチします。

2、対象ファイルのバックアップ

次のように設定ファイルをバックアップします。

```
# cp -vi /etc/ntp.conf /etc/ntp.conf.org
```

3、設定変更

続いて、ご希望の NTP サーバが指定されるよう変更します。

`server` から始まる既存行をコメントアウトし、ご希望の NTP サーバ情報を指定した行を追加して保存してください。

```
# vi /etc/ntp.conf
※変更前
server 0.centos.pool.ntp.org iburst
server 1.centos.pool.ntp.org iburst
server 2.centos.pool.ntp.org iburst
server 3.centos.pool.ntp.org iburst
(略)

※変更後
#server 0.centos.pool.ntp.org iburst
#server 1.centos.pool.ntp.org iburst
#server 2.centos.pool.ntp.org iburst
#server 3.centos.pool.ntp.org iburst
server [指定の NTP サーバアドレス]
(略)
```

4、設定の反映

次のコマンドで `ntpd` を再起動し、変更を反映します。

```
# /etc/init.d/ntpd restart
```

エラーなくプロンプトが返れば次のコマンドを発行し、プロセスが応答することを確認してください。

```
# ps axu | grep ntpd
(略) ntpd -u ntp:ntp -p /var/run/ntpd.pid -g
```

5、時刻同期状況の確認

次のコマンドを実行し、指定したサーバが応答に含まれること、応答行のいずれか先頭に*が付与されていることをご確認ください。

また同じコマンドを複数回実行し、「when」列の値が更新され「poll」列の値を超えないことをご確認ください。

```
# ntpq -p

※実行例

      remote           refid       st t  when poll reach  delay  offset  jitter
=====
*ntp-a2.nict.go. .NICT.          1 u   35   64  377  10.753  0.686  4.923
```

また、次のコマンドで X-MON サーバの現在時刻が正しいかご確認いただけます。

```
# date
```

時刻を手動で同期させたい場合は、次のように実行してください。

一時的に ntpd サービスを停止し、ntpdate コマンドで同期を行った後に ntpd サービスを起動します。

```
# /etc/init.d/ntpd stop
# ntpdate [指定の NTP サーバアドレス]

※実行例
(略) ntpdate[22519]: adjust time server [指定の NTP サーバアドレス] offset 0.001654 sec

# /etc/init.d/ntpd start
```

以上